

むかわ町立
穂別博物館報

第24号

平成18（2006）年度版

むかわ町立穂別博物館

目 次

- 沿 設 革 ----- (p . 1)
- 施 設 の 概 要 ----- (p . 4)
- 施 設 平 面 図 ----- (p . 4)
- 展 示 活 動 ----- (p . 5)
- 広 報 活 動 ----- (p . 6)
- 普 及 教 育 活 動 ----- (p . 7)
- 登 録 資 料 数 ----- (p . 1 1)
- 資 料 収 集 保 存 活 動 ----- (p . 1 1)
- 調 査 研 究 活 動 ほ か ----- (p . 1 5)
- 運 営 ----- (p . 1 6)

● 沿 革

「この博物館は、国の公立社会教育施設整備事業及び北海道市町村振興事業の補助を受け建設されたものである。」

穂別町立博物館は昭和50(1975)年の長頸竜「ホベツアラキリュウ」標本の発見がきっかけとなって建設された。当初は「穂別町郷土資料館」として計画され、建設計画中に「穂別町立博物館」として名称変更された。名称変更後の館活動は「本町で発見される化石(自然史)」の研究・保存・普及と「町の歴史(人文)」の保存・普及を行う二面性を備えた総合博物館としてのものであった。

その後、約10年にわたる博物館活動の結果蓄積された自然史資料の重要性と、人文系資料の保存活動に要する作業量にアンバランスを生じ、活動方針の変更が行われた。その基本活動方針は、「穂別地域で産出する古生物(化石)を材料とし『地球と生命の歴史を考える』総合博物館とする」である。その後現在にいたるが、ここではその経緯を記録し、今後の活動の充実と強化につとめていきたい。

I 「建設の目的」と「展示更新」・「名称変更」

〈穂別町郷土資料館建設の目的〉

『本町は、クビナガリュウをはじめデスモスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。穂別町開町70年(町制施行20年)を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

(昭和55(1980)年11月26日)

〈展示更新の基本的考え方〉

『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。

旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見ることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の1頁1頁であることを理解させる博物館とする。』

(平成2(1990)年6月27日)

〈市町村合併による名称変更〉

平成18(2006)年3月27日に穂別町と鶴川町の合併によって「むかわ町」が誕生し、町立博物館である当館の名称は、新町の名称に合わせて変更する必要性が生じた。しかしながら、これまでの実績との継続性、また、登録資料番号(HM-:HOBETSU MUSEUMの略)の維持のため、新名称には「穂別」の文字を残すこととし、新たな名称を「むかわ町立穂別博物館」(英語表記:HOBETSU MUSEUM)とした。

Ⅱ 沿革

*本年表において「長頸竜」・「首長竜」・「クビナガリュウ」・「ホベツアラキリュウ」の使い分けは、以下の通り。

- ・「長頸竜」：動物分類上の suborder PLESIOSAURIA の和訳として用いている。「蛇頸竜亜目」または「長頸竜亜目」が正式。
- ・「首長竜」：「発掘調査団」の固有名称として使用。
- ・「クビナガリュウ」：長頸竜の通称として使用。
- ・「ホベツアラキリュウ」：「穂別町首長竜化石発掘調査団」によって発掘された標本の名称。

昭和50(1975)年

6月：穂別町字長和において、脊椎動物化石の入った母岩を発見、一部採集。発見者：荒木新太郎氏（穂別町在住）。

昭和51(1976)年

9月：佐藤昌人指導員（苫小牧青少年センター）・佐藤隆久教諭（穂別町立仁和小学校）、荒木氏発見の化石を長谷川善和主任研究員（国立科学博物館）に鑑定依頼。

昭和52(1977)年

2月：長谷川主任研究員の鑑定結果が新聞で報道。白亜紀海棲爬虫類の鱗の一部と確認。

7月5～8日：「穂別町首長竜化石発掘調査団」結成、発掘調査。後に、この標本を「ホベツアラキリュウ」標本と命名。

昭和53(1978)年

5月：「ホベツアラキリュウ」標本のクリーニング（剖出）作業開始

11月：穂別町立郷土資料館 開館（旧・穂別町立さくら保育所施設利用）

昭和54(1979)年

5月：長頸竜化石骨、穂別町指定文化財第2号に指定

昭和55(1980)年

10月16日：「穂別町郷土資料館建設計画検討委員会」発足

昭和56(1981)年

3月13日：施設の名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更

昭和56(1981)年

7月～12月：博物館建設工事

9月1日：鈴木 茂学芸員就任（～昭和60年3月31日）

昭和57(1982)年

1月16日：長頸竜復元作業開始

3月～6月：博物館展示工事

7月20日：博物館開館。一般公開開始（初代館長：今幸太郎教育長兼任）

8月26日：「博物館協議会」発足

11月1日：北海道博物館協会加入

12月19日：長頸竜（ホベツアラキリュウ）復元骨格展示公開

12月19日～1月23日：特別展（第1回）「よみがえるクビナガリュウ」

昭和58(1983)年

3月2日：博物館法による登録博物館となる（北博登第28号）

3月28日：「博物館協力会」設立

4月1日：日本博物館協会加入

4月28日：菅原康次（第二代）館長就任

7月22日～8月7日：収蔵資料展（第1回）「地図展」

8月1日：全国科学博物館協議会加入

11月1日～3日：収蔵資料展（第2回）「こけし展」

昭和59(1984)年

2月：村上 隆著「よみがえるクビナガリュウ」発刊

3月27日：「穂別町立博物館研究報告」刊行開始

6月14日：第二展示室（町立博物館保存庫）完成

11月1日～4日：収蔵資料展（第3回）「古い写真・古い文書展」

12月1日：桜庭勝美（第三代）館長就任

昭和60(1985)年

3月30日：「穂別町立博物館館報」刊行開始

5月1日：地徳 力学芸員就任（～平成11年3月31日）

11月1日～10日：特別展（第2回）「北海道一億年」

昭和61(1986)年

10月21日～11月9日：特別展（第3回）「穂別の自然」

昭和62(1987)年

1月1日：今幸太郎（第四代）館長就任（教育長兼任）

7月28日～8月9日：特別展（第4回）「アンモナイトの系図」

昭和63(1988)年

7月17日：第三展示室（保存庫）完成

8月23日～9月4日：特別展（第5回）「穂別のカメラ化石」

10月6日：今 幸太郎（第五代）館長就任（専任）

平成元(1989)年

6月30日：仲谷 英夫氏（香川大学助教授）：長頸竜ホベツアラキリュウ標本の記載論文公表

7月18日～8月20日：特別展（第6回）「穂別のむかし=写真で見る穂別の歴史=」

9月29日～10月6日：学芸員、カナダ・アルバータ州ティール古生物学博物館に派遣

平成2(1990)年

7月23日：ドラムヘラー市長夫妻（カナダ、アルバータ州）来館

8月18日～9月16日：特別展（第7回）「戦争と穂別」

9月3日～5日：レイド、M. G. 氏（アルバータ州ティール古生物学博物館）来館

12月31日：野田藤雄（第六代）館長就任（教育長兼任）

- 平成3(1991)年
 4月1日：佐藤 稔（第七代）館長就任
 4月28日、29日：入館者10万人突破記念事業
- 平成4(1992)年
 2月1日：展示更新工事開始
 4月23日～25日：カリー、P. J. 氏（アルバータ州ティール古生物学博物館）来館
 4月29日：展示更新完了、一般公開再開
- 平成6(1994)年
 4月1日：野田藤雄（第八代）館長就任（教育長兼任）
 4月1日：川上 源太郎学芸員就任（～平成10年3月31日）
- 平成7(1995)年
 7月15日～9月12日：学芸員、カナダ・アルバータ州ティール古生物学博物館に派遣、研修。
 8月12日：かせき学習館完成
- 平成8(1996)年
 7月27日～28日：'96北海道化石サミット開催（穂別町民センター）
 10月6日：大江美津夫（第九代）館長就任
- 平成9(1997)年
 7月6日、7月10日～8月31日：クビナガリュウ発掘20周年記念事業パネル展（第8回特別展）
- 平成10(1998)年
 4月1日：櫻井和彦学芸員就任（現任）
 6月11日：星 功（第十代）館長就任
 8月11日～8月31日：特別展（第9回）「地球物語り（地質学普及書の近代史）」
- 平成11(1999)年
 1月1日：山田 正（第十一代）館長就任
 5月29日：入館者30万人突破記念事業
 8月1日～8月31日：特別展（第10回）「滄龍の泳いだ海-7000万年前の穂別-」
 10月5日～11月28日：特別展（第11回）「穂別の自然」
- 平成12(2000)年
 8月1日～8月31日、9月14日～10月1日：特別展（第12回）「穂別の石-川原の石から見た穂別」
 9月14日～10月1日：日胆地区博物館等連絡協議会主催移動展「日高・胆振の博物館紹介」
- 平成13(2001)年
 8月1日～8月25日：特別展（第13回）「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」
- 平成14(2002)年
 4月28日～5月17日：特別展（第14回）「ツノのある奇妙なカメ-海の穂別からリクガメ化石の発見-」
 7月1日～21日：特別展（第15回）「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」（再公開）
 7月20日：開館20周年記念講演・討論会「化石の里（まち）の博物館」
 7月27日～8月9日：博物館協力会企画展「穂別の化石」
- 8月31日～9月27日：特別展（第16回）「穂別のカメ化石-恐竜時代のウミガメとリクガメ」
- 平成15(2003)年
 1月1日：清川博之（第十二代）館長就任
 7月20日～8月31日：特別展（第17回）「穂別を泳いだモササウルス」
 11月1日～1月31日：特別展（第18回）「虫とくらし」（協力：北海道開拓記念館）
- 平成16(2004)年
 7月17日～8月31日：特別展（第19回）「クジラとデスマスチルス-穂別を泳いだ哺乳類-」
 10月30日～12月12日：特別展（第20回）「火山と地震 -佐々保雄北海道大学名誉教授一括資料展」
- 平成17(2005)年
 7月16日～8月31日：特別展（第21回）「ホベツアラキリュウ発見30年」
 10月29日～12月18日：特別展（第22回）「絵はがきは語る -旅の思い出・昔のまちなみ-」
- 平成18(2006)年
 3月27日：「むかわ町」誕生（穂別町・鶴川町の合併による）、当館の名称を「むかわ町立穂別博物館」と改称
 3月27日：本多廣行（第十三代）館長就任
 7月15日～9月3日：特別展（第23回）「貝が語る むかわの一億年」
 10月28日～12月17日：特別展（第24回）「むかわの自然-山と干潟の生き物たち-」

●施設の概要

【位 置】

北海道勇払郡むかわ町穂別80番地6

【穂別町立博物館】

【構造規模】

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：1,100m²

常設展示室	372.88m ²
特別展示室	99.08m ²
収蔵庫	86.56m ²
事務室	40.50m ²
研究室	31.50m ²
整理室	29.92m ²
学習展示室	184.75m ²
書庫	35.05m ²
共用部門	219.76m ²

【工 期】

昭和56年度～57年度

【総事業費】

3億6,216万5,000円

【展示更新】

平成3年度～平成4年度：博物館展示替え工事

平成5年度：マルチスライド、イメージソフト制作

【更新事業費】

平成3年度～4年度：99,910,000円（内消費税2,910,000円）

平成5年度：6,890,700円（内消費税 200,700円）

【かせき学習館】

【構造規模】

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：325.89m²

事務室	56.70m ²
作業室	56.70m ²
書庫	14.04m ²
レプリカ室	12.15m ²
処 理 室	12.15m ²
展示物保管庫	162.00m ²
共用部門	12.15m ²

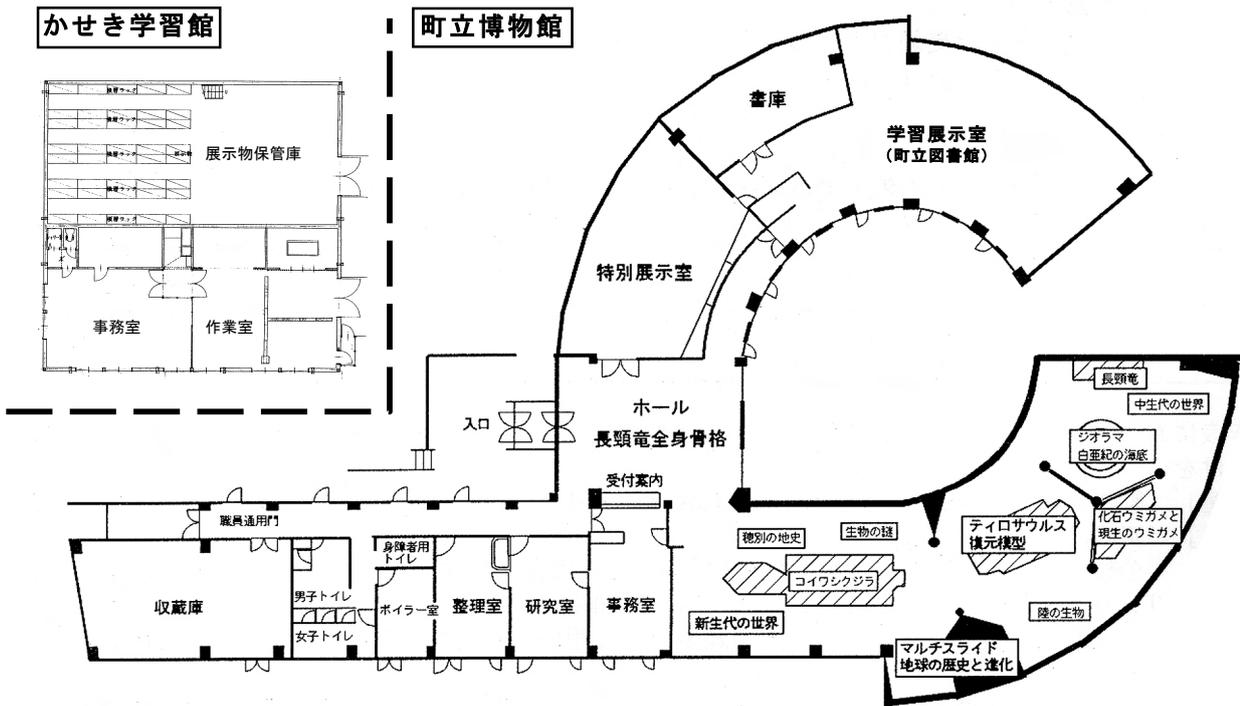
【工 期】

平成7年度

【総事業費】

5,709万2,900円（消費税込み）

●施設平面図



● 展示活動

I 常設展示

主にむかわ町穂別地区から産出した動物化石を中心に、地質・化石資料やその復元模型を展示する。

【常設展示の変更】

- 平成18(2006)年6月2日 ジオラマ周囲の化石入れ換え（ウミユリ2・スナモグリ2追加、ほかサンゴ・ウニ入れ換え）
 平成18(2006)年9月9日 笠型巻貝（1：白亜紀）追加
 平成18(2006)年9月13日 恐竜？化石（1：白亜紀）を撤去・植物化石（12：白亜紀）を展示
 平成18(2006)年12月9日 ジオラマ「クビナガリュウの海」を設置（入口ホール）
 平成19(2007)年2月17日 図書閲覧コーナーの設置（常設展示室）：約300冊
 平成19(2007)年3月1日 スタンプ更新（旧6個→新規4個＋旧2個：入口ホール）

【常設展示資料】

種別	分類		点数	計
化石	脊椎動物	魚類	7	255
		爬虫類（長頸竜10*・モササウルス8*・カメ6・他2）	26	
		哺乳類（クジラ8・デスモスチルス2・他10*）	20	
	その他動物	軟体動物（頭足類89・腹足類31・斧足類40・他4）	164	
		その他（甲殻類9・その他11）	20	
	植物	16		
生痕	2			
現生生物	脊椎動物	爬虫類（カメ）	3	12
		哺乳類（クジラ5・鰭脚類1）	6	
	その他動物	軟体動物（頭足類）1・甲殻類1	2	
	植物	1		
復元模型	脊椎動物	爬虫類（長頸竜1・モササウルス1・カメ1）	3	3
その他	岩石標本等		21	21
合計				291

*：レプリカ含む

(2007年3月31日現在)

II 特別展示

【夏季特別展】「貝が語るむかわの一億年」：平成18(2006)年7月15日～9月3日

新町誕生を受け、貝を中心に、むかわ町の一億年の歴史を紹介。穂別地区の白亜紀・新生代（古第三紀・新第三紀）の貝化石、鵜川地区の現在の貝を展示し、それぞれの時代に生きていた貝、その移り変わりについて紹介した。白亜紀の貝は大きく異なるが、新生代の貝は現在も似たものが生きていることを知ってもらうことが目的。鈴木明彦助教授（北海道教育大学岩見沢校）に協力を依頼、展示資料も借用した。

開催期間中に、展示内容に関するクイズ、学芸員による特別展の解説を実施。

【秋季特別展】「むかわの自然-山と干潟の生き物たち-」：平成18(2006)年10月28日～12月17日

新町誕生によって一つの町になったことを受け、穂別地区の山の生き物と、鵜川地区の干潟の生き物を通じ、むかわ町の自然を紹介した。けわしい山に深い森、大きな川と平野、そして太平洋という地形の変化に富んだ、むかわ町の豊かな自然を知ってもらうことを目的とした。鵜川地区の生き物は「ネイチャー研究会 inむかわ」に協力を依頼し、干潟の野鳥と植物の写真を借用した。

開催期間中に、展示内容に関するクイズを実施。

Ⅲ 年間入館者数

分類	平成14年度 (2002)	平成15年度 (2003)	平成16年度 (2004)	平成17年度 (2005)	平成18年度 (2006)
個人	一般	10,355	8,300	7,954	6,843
	学生	4,367	3,740	3,567	2,963
団体	一般	877	781	775	691
	学生	1,348	679	988	715
計	16,947	13,500	13,284	11,212	10,388

学生は小学校～高校生、一般は高校生より上、幼児（無料）はこの表には含まれていない（単位：人）
個人：割引入館者（地球体験館との共通利用割引）・無料入館者（特定入館日、減免等）含む、団体：10名以上

● 広報活動

【ホッピーだより（博物館広報紙）】

- 257号＜平成18(2006)年4月＞：「むかわ町立徳別博物館の案内」
 258号＜平成18(2006)年5月＞：「平成17年度寄贈資料の紹介／収蔵庫の化石展 開催中」
 259号＜平成18(2006)年6月＞：「収蔵庫の化石展終了／自然観察会・レプリカづくり体験」
 260号＜平成18(2006)年7月＞：「ホッピーのひみつ1／化石採集会 実施」
 261号＜平成18(2006)年8月＞：「ホッピーのひみつ2／生きている化石・イチョウ」
 262号＜平成18(2006)年9月＞：「ホッピーのひみつ3／夏休み わくわく化石体験！」
 263号＜平成18(2006)年10月＞：「ホッピーのひみつ4／スズメの事故死？」
 264号＜平成18(2006)年11月＞：「ホッピーのひみつ5／きれいな花とそれなり？の花」
 265号＜平成18(2006)年12月＞：「ホッピーのひみつ6／果実と種子の話1」
 266号＜平成19(2007)年1月＞：「ヨウスコウカワイルカ、絶滅!？／果実と種子の話2」
 267号＜平成19(2007)年2月＞：「ホッピーのひみつ7／果実と種子の話3」
 268号＜平成19(2007)年3月＞：「ホッピーのひみつ8／図書コーナーができました！」

【博物館PRコーナー】

平成18(2006)年4月28日：四季の館に「博物館PRコーナー」の設置

【新聞掲載】

【北海道新聞苫小牧圏「とまにち博物誌」】

- 平成18(2006)年6月16日：「ホッピー--生活ぶりなお謎多く-」（連載16回め）
 平成18(2006)年11月3日：「むかわの自然-動植物はぐくむ豊かな森-」（連載17回め）
 平成19(2007)年3月23日：「化石が教えてくれること-生命の道のり 雄弁に-」（連載18回め）

【ラジオ放映】

- 平成18(2006)年9月12日：HBCラジオ「カーナビラジオ午後一番」（中継：展示紹介・化石クリーニング体験）

【広告等掲載】

【読売新聞】

- 平成18(2006)年8月号「読売新聞家庭版Yomy Prego北海道」（広告掲載）

【じゃらん】

- 平成18(2006)年5月号「じゃらん」（広告掲載）
 平成18(2006)年8月号「じゃらん」（広告掲載）

●普及教育活動

※利用者の区分は以下の通り

幼：小学生未満、小：小学校～高校生、大：一般

I 博物館事業（博物館の主催・共催事業）

【特別展】

夏季特別展（第23回）「貝が語る むかわの一億年」
〈平成18(2006)年7月15日～9月3日〉：見学3,965人
[特別展関連事業]

「クイズ」（期間中、会場で実施）：629人

「学芸員による解説」〈7月15日、22日、8月5日〉
：小7・大10

秋季特別展（第24回）「むかわの自然-山と干潟の
生き物たち-」〈平成18(2006)年10月28日～12月17日〉
：見学581人

[特別展関連事業]

「クイズ」（期間中、会場で実施）：59人

【マイ・ミュージアム（企画展）】

：特別展示室を活用することで、町民一人一人に
「自分たち町民の博物館」として親しみを持って
もらうことをめざす。町民の作品やコレクション、
当館で保管する資料を展示し、お互いに見て楽し
む活動とすることが目的。

第12回「博物館のポスター展」〈平成18(2006)年3月
31日～4月9日〉（新町誕生記念事業）これまでの
特別展・企画展、「道民の森の植物」などのポス
ターを展示：見学279人

第13回「収蔵庫の化石展」〈平成18(2006)年4月21日
～5月21日〉いつもは公開していない収蔵庫の化石
を展示：見学3,059人

「クイズ」（期間中、会場で実施）：300人

第14回「私のお宝展」〈平成18(2006)年9月23日～10
月9日〉町民が作成した絵画や作品、収集品、プロ
野球選手のユニフォームなどを展示：見学595人

【町民文化祭】

：穂別町民文化祭に出展（穂別スポーツセンター）。
「北海道の虫・アジアの虫」〈平成18(2006)年10月27
日～29日〉寄贈された昆虫標本（北海道の蝶や東
南アジアの甲虫類など）を展示：見学者多数

【ホッピー化石アドベンチャー】

：町内の4年生以上を対象に、一年を通じて穂別の化
石を学ぶ。平成18年度の会員は12人（町内小～高校

生、ほか会員外2人）。全7回実施。

第1回〈平成18(2006)年5月20日〉「化石採集1〈中生
代の化石〉」開会式と化石採集：小11・大1

第2回〈平成18(2006)年6月17日〉「化石クリーニン
グ」（雨天対応）化石クリーニング：小9・大2

第3回〈平成18(2006)年8月26日〉「化石採集2〈新生
代の化石〉」特別展見学・化石採集：小10・大3

第4回〈平成18(2006)年9月2日〉「化石のレプリカづ
くり」展示見学・クリーニングした化石のレプリ
カ作成：小10・大1

第5回〈平成18(2006)年10月7日〉「化石のレプリカ
づくり2・化石しらべ」：レプリカ作成(2回め)・
採集した貝化石の名前しらべ：小10・大1

第6回〈平成18(2006)年11月18日〉「化石のレプリカ
づくり3・化石しらべ2」レプリカ作成(3回め)・
クリーニングしたアンモナイトの名前しらべ
：小13・大4

第7回〈平成19(2007)年1月13日〉「展示の準備」ホ
ッピー化石アドベンチャー展2006の準備・閉会
式：小12・大2

※参加者数は、補習参加者も加算したのべ人数
「ホッピー化石アドベンチャー展2006」
〈平成19(2007)年1月20日～2月18日〉会員の一年間
の成果の展示：見学97人（うち町内35人）

【化石の体験学習】

化石採集会：学習用地にて化石採集の体験

（参加者計：小13・大16）

第1回〈平成18(2006)年6月11日〉：小3・大7

第2回〈平成18(2006)年6月18日〉：小4・大4

第3回〈平成18(2006)年8月6日〉：小6・大5

化石クリーニング体験

：かせき学習館にて化石クリーニングの体験

（参加者計：小50・大36）

月例：6回（6月～11月）

第1回〈平成18(2006)年6月24日〉：小4・大6

第2回〈平成18(2006)年7月22日〉：小4・大1

第3回〈平成18(2006)年8月26日〉：小5・大2

第4回〈平成18(2006)年9月30日〉：小5・大5

第5回〈平成18(2006)年10月28日〉：小6・大5

第6回〈平成18(2006)年11月11日〉：小3・大3

夏休み対応：4回〈平成18(2006)年8月2日・3日〉

8月2日 午前：小5・大4、午後：小5・大4

8月3日 午前：小4・大5、午後：小9・大1

化石レプリカ作成体験

：館外などでレプリカ作成の体験

(参加者計：小188・大24)

大型連休対応：4回<平成18(2006)年5月3日・4日：

かせき学習館>

5月3日 午前：小10・大1, 午後：小10・大1

5月4日 午前：小4・大7, 午後：小7・大4

鶴川地区対応：4回<平成18(2006)年7月29日・30

日：四季の館>

7月29日 午前：小15・大1, 午後：小10・大1

7月30日 午前：小2・大1, 午後：小8・大6

夏休み対応：4回<平成18(2006)年8月12日・13日：

穂別キャンプ場>

8月12日 午前：小12・大2, 午後：小15・大0

8月13日 午前：小15・大0, 午後：小18・大0

「ふわふわ粘土」による型どり<8月12日・13日>

：小62

【自然観察会】

：ほべつ道民の森にて自然の観察会

(参加者計：小10・大23)

「春の花と山菜」<平成18(2006)年5月13日>：小0・

大10

「夏の樹木」<平成18(2006)年5月28日>：小5・大5

「秋のキノコ」<平成18(2006)年9月10日>：小5・大8

「冬の森」(穂別地球体験館「地球と遊ぼう2007」

と共催)：少雪により中止

※講師は博物館協力会会員，役場職員に依頼

【昔の暮らし体験】

：中村記念館にて「昔の暮らし」を体験する

「まき割り・SPレコード鑑賞・アイロンがけ」

<平成18(2006)年9月23日・24日>：小3・大13

【ミニ・ジオラマづくり】

：冬休み自由研究対応。「クビナガリュウの海」

のジオラマづくり。(参加者計：小26・大4)

第1回<平成19(2007)年1月7日>：小12・大3

第2回<平成19(2007)年1月8日>：小9・大1

補習<平成19(2007)年1月12日>：小5・大0

【ホッピー劇場】

：保育所にて、穂別の化石を紹介する紙芝居や

ハンドパレットの上演。(計：幼64)

平成19(2007)年3月15日 富内保育所：幼10

平成19(2007)年3月16日 栄和保育所：幼17

平成19(2007)年3月16日 さくら保育園：幼37

【ワークシート等】

[博物館探検シート]

：展示室の内容や化石について学ぶ(全8枚)

平成18(2006)年4月1日～平成19(2007)年3月31日

：561人

[塗り絵絵本]

：穂別の化石をもとにした塗り絵絵本(2種類)。

B5サイズ・各14p製本。

平成18(2006)年4月1日～8月19日：200部

[化石が語る絵物語]

：塗り絵絵本の図を使い、簡略化したシート。A4

両面・各1枚(2種類)

平成18(2006)年9月9日～平成19(2007)年3月30日：

「クビナガリュウの海」119部

「デスモスチルスの海」111部

[ミニジオラマ(クビナガリュウの海)]

：クビナガリュウの泳いだ海を、自分だけのジオラマ(立体模型)として作る原図シート

平成18(2006)年4月8日～平成19(2007)年3月30日

：697人

【運営協力など】

[町内の事業]

「星座観察会」(社会教育事業わんぱく広場)

平成19(2007)年1月26日：星座観察の会場準備等

[他館の主催事業等]

「円山動物園 化石学覧会セミナー」(札幌市)

<平成18(2006)年8月15日>：講演「クビナガリュウ

『ホッピー』の泳いだ海」(小11・大5)

「日高山脈館セミナー『石・鉱物・化石の鑑定会

2006』」(日高町)<平成18(2006)年10月29日>：

講師(化石担当)

II その他事業

【博物館スタンプ】

：博物館の名称変更に伴い、ホールにある化石等の絵柄のスタンプを新規作成<平成19(2007)年2月>

【アンモナイトの写真CD】

：マイ・ミュージアムや研究報告第22号の内容を元に、穂別産アンモナイトの写真CDを作成<平成

19(2007)年3月>

Ⅲ 町内団体等の利用

学芸員等が対応したものは<>で内容を示した
特に表記のないものは案内の伴わない展示見学

【町内学校・教育関係団体】

平成18(2006)年5月：

17日：生田小学校・宮戸小学校 全学年<展示
見学・中村記念館見学> (小47・大10)

24日：和泉小学校 全学年<展示見学>
(小12・大4)

25日：町研究(理科)<化石採集>(大8)

平成18(2006)年6月：

7日：穂別小学校4年<展示見学・質問対応>
(小16・大2)

14日：稲里小学校 全学年<化石採集>
(小4・大3)

平成18(2006)年7月：

11日：鵜川高校2年<化石クリーニング>
(小61・大3)

21日：穂別小学校3年<展示見学・質問対応>
(小26・大2)

平成18(2006)年9月：

7日：町教研(理科)<植物の話・化石クリー
ニング>(大8)

21日：穂別小学校6年<地質見学>(小25・大1)

29日：富内小学校1・2年<展示見学・質問
対応>(小6・大1)

平成18(2006)年10月：

5日：穂別高校1年<化石採集>(小37・大2)

6日：穂別高校3年<化石採集>(小26・大2)

24日：穂別小学校4年(社会科)<学習館
収蔵庫の見学>(小16・大2)

平成18(2006)年12月：

7日：富内小学校3年<展示見学・特別展>
(小3・大2)

9日：穂別高校見学者<展示見学>(小3・大3)

平成19(2007)年2月：

22日：鵜川中学校1年<質問対応>(小6)

【町内各種団体】

平成18(2006)年6月：

21日：むかわ町教育委員会 学校・社会教育
施設視察<展示見学>(大6)

平成18(2006)年9月：

10日：わんぱく広場 化石ツアー<化石採集・
化石クリーニング>(小14・大2)

平成19(2007)年3月：

9日：地球体験館新人研修<展示案内>(大2)

Ⅳ 町外団体の利用

学芸員等が対応したものは<>で内容を示した
特に表記のないものは案内の伴わない展示見学

【町外学校・教育関係団体】

平成18(2006)年4月：

16日：登別青嶺高校（小182・大10）

平成18(2006)年5月：

12日：札幌大学 学芸員課程<展示見学>
（大35）

14日：とまこまい自然と語る会<展示見学>
（大42）

24日：江別第二中学校 2年<展示見学>
（小33・大2）

平成18(2006)年6月：

16日：花川北中学<展示見学>（小104・大9）

20日：兵庫県甲南高校（小206・大8）

22日：長沼高校 1年<展示見学>（小75・大4）

23日：北海道大学理学部地質巡検<展示見学>
（大31）

30日：胆振管内高校教員 地域研修<展示見
学>（大6）

平成18(2006)年7月：

6日：厚真中央中学校 5年<展示見学>（小22
・大4）

11日：日高小学校（小15・大3）

20日：室蘭市悠々ライフ講座<展示見学>
（大82）

平成18(2006)年8月：

6日：札幌市北区青少年育成委員会（小19・
大9）

8日：北海道立理科教育センター<展示見学・
化石採集>（大26）

31日：恵庭市立松恵小学校<展示見学>（小67
・大10）

平成18(2006)年10月：

13日：札幌市教員互助会<展示見学>（大32）

14日：自然教育促進会<化石採集・展示見学>
（小28・大10）

平成18(2006)年11月：

9日：駒沢大学生<質問対応・展示見学>（大2）

平成18(2006)年12月：

16日：北広島西高校 理科学員（研修）<展示見
学>（大5）

【町外各種団体】

平成18(2006)年4月：

6日：農業実習生（中国）<展示見学>（大18）

平成18(2006)年6月：

2日：胆振支庁視察<展示見学>（大1）

：東日本高速道路株式会社 北海道支社

千歳工事事務所<展示見学>（大17）

9日：平取町農業研修生（中国）<展示見学>
（大6）

平成18(2006)年7月：

23日：円山リトルジャイアンツ（小22・大13）

27日：平取町少年消防クラブ（小7・大2）

平成18(2006)年8月：

2日：ルーテルこどもキャンプ<展示見学>
（小61・大12）

：札幌シオン協会（小7・大5）

20日：名寄ダリヤ会（大26）

平成18(2006)年9月：

9日：はまなす同好会（大19）

平成18(2006)年10月：

21日：幸町寿クラブ女性部（大27）

：白石中央五福会（大23）

22日：追分守る会（小2・大24）

29日：苫小牧市桜坂町内会（小3・大19）

平成18(2006)年11月：

4日：砺波市 市長・市議会議長視察<展示
見学>（大2）

5日：札幌むかわ会（大20）

平成19(2007)年1月：

26日：監査委員<展示見学>（大4）

●登録資料数

【自然史系登録資料 (HMG)】 1,398点
地質・化石資料
【自然系登録資料 (HMB)】 123点
現生動植物資料

【人文系登録資料 (HMC)】 3,832点
民俗・歴史資料

計5,353点 (2007.3.31.現在)

●資料収集保存活動

I 寄 贈

(敬称略)

【自然史系資料】(24件・755点)

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2006-008	骨化石(白亜紀カメ?)	1	千歳化石会
2006-010	石英生成ノジュール	1	千歳化石会
2006-015	化石含有ノジュール	515	堀田 良幸
2006-016	化石含有ノジュール	34	堀田 良幸
2006-017	化石含有ノジュール	38	菅原 昭二
2006-018	骨化石(ウミガメ?)	1	菅原 昭二
2006-019	二枚貝化石	1	菅原 昭二
2006-020	笠型巻貝	1	菅原 昭二
2006-021	化石含有ノジュール	1	菅原 昭二
2006-023	化石含有ノジュール	4	菅原 昭二
2006-040	骨化石(新生代)	1	荒木 新太郎
2006-042	アンモナイト	2	千歳化石会
2006-043	イノセラムス	1	千歳化石会
2006-044	化石含有ノジュール	1	千歳化石会
2006-045	化石含有ノジュール	1	博物館協力会
2006-046	アンモナイト(大)	1	㈱地崎工業・西江建設㈱ 特定建設工事共同企業体
2006-047	骨化石	1	堀田 良幸
2006-048	化石含有ノジュール	51	博物館協力会
2006-049	化石含有ノジュール	2	鍋澤 敏克
2006-051	アンモナイト(大)	1	鹿戸 辰幸 鍋澤 敏克
2006-052	化石含有ノジュール	5	博物館協力会
2006-053	化石含有ノジュール	35	博物館協力会
2006-061	化石含有ノジュール	29	博物館協力会
2006-062	化石含有ノジュール	27	博物館協力会

【自然系資料】(2件・322点)

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2006-007	昆虫標本(北海道産ほか)	321	溝口 賢治
2006-022	動物標本(シカ)	1	菅原 昭二

II 採 集

【自然史系資料】(11点)

化石含有ノジュール等(白亜紀):11

【自然系資料】(2点)

現生動物標本 : 2点

【人文系資料】(0点)

【人文系資料】(18件・120点)

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2006-002	「穂別町役場」看板	1	穂別町
2006-003	「人間健康宣言の町(穂別町)」看板	1	穂別町
2006-013	隸書版「東海道五十三次」廣重画(国際情報社発行)	1	伊藤 好一
2006-014	赤札(郵便はがき2銭)	16	伊藤 好一
2006-033	天秤はかり	1	穂別診療所
2006-034	手回し計算機	1	穂別診療所
2006-035	-01 レコード立て:1 -02 EP レコード:58 -03 LP レコード:14	73	相澤 孝行
2006-036	EP レコード:2 LP レコード:1	3	渋谷 隆明
2006-039	刻印「穂別村」「穂検」	2	地域振興課
2006-041	穂別町 町章	1	穂別町役場 政策調整課
2006-054	水槽	1	三上 清文
2006-055	草刈り鎌	1	山田 正
2006-056	そろばん(五玉)	1	山田 正
2006-057	火鉢	1	山田 正
2006-058	電子計算機	1	穂別町役場
2006-059	穂別村民文化祭 大運動会 優勝旗	1	穂別町 教育委員会
2006-060	和泉豊田婦人会 会旗	1	穂別町 教育委員会
2006-064	-01 穂別町開町70年・ 町施行20年記念品:1 -02 グラス:12	13	石黒 和徳

【その他】(1件・300点)

2006-065 化石・恐竜関連図書 300 村上 隆

III 野外調査活動

【現地調査】13回

4月:29、30日

6月:1、3、4日

7月:23日

8月:27日

10月:9、11、19、25、29日

11月:2日

内訳:博物館協力会と合同調査:5回

千歳化石会と合同調査:4回

IV 新規登録資料

登録番号：資料名／受入番号／寄贈（採集）者名

【自然史系資料（HMG）】（化石・地質）114点

- HMG-1293：生痕化石／2000-009／穂別町立博物館
HMG-1294：生痕化石／1997-023／笠巻 袈裟男・千歳化石会・穂別町立博物館
HMG-1295：単体サンゴ／1998-129／穂別町立博物館
HMG-1296：単体サンゴ／2004-010／穂別町立博物館
HMG-1297：単体サンゴ／1995-011／川上 源太郎・渋谷 直憲
HMG-1298：ウミユリ／2004-015／穂別町立博物館
HMG-1299：ウミユリ／1981-052／鈴木 茂
HMG-1300：ウニ／1985-060／博物館協力化石部会
HMG-1301：ウニ／2006-004／長岡 晴道
HMG-1302：ウニ／2006-005／地徳 力
HMG-1303：ウニ／2006-006／採集者不明
HMG-1304：スナモグリ／2002-027／阿部利春
HMG-1305：アンモナイト（顎器）／1981-025／笠巻 袈裟男
HMG-1306：アンモナイト（顎器）／2003-035／荒木 新太郎
HMG-1307：アンモナイト（顎器）／1983-025／鈴木 茂
HMG-1308：アンモナイト（顎器）／1985-041／笠巻 袈裟男・桜庭 勝見・地徳 力
HMG-1309：アンモナイト（顎器）／1981-056／鈴木 茂・高木 俊男
HMG-1310：アンモナイト（顎器）／1982-018／荒木 新太郎
HMG-1311：アンモナイト（顎器）／2004-016／菅原 昭二
HMG-1312：イノセラムス／1997-019／穂別町立博物館
HMG-1313：アンモナイト／1986-192／千代川 謙一
HMG-1315：アンモナイト／1992-036／博物館協力化石部会
HMG-1316：スナモグリ／1990-013／小西 堅一
HMG-1317：スナモグリ／1990-013／小西 堅一
HMG-1318：スナモグリ／1990-013／小西 堅一
HMG-1319：単体サンゴ／1995-011／川上 源太郎・渋谷 直憲
HMG-1320：イノセラムス(*Inoceramus japonicus*)／1997-033／穂別町立博物館
HMG-1321：イノセラムス(*Inoceramus hobetsensis*)／1992-010／阿部 利春
HMG-1322：二枚貝類／1982-118／笠巻 袈裟男
HMG-1323：二枚貝類／2006-024／鈴木 茂
HMG-1324：二枚貝類／1983-051／鈴木 茂
HMG-1325：ツキガイモドキ(*Myrtea ezoensis*)／1981-033／鈴木 茂・荒木 新太郎・高橋 博志
HMG-1326：ツキガイモドキ(*Myrtea ezoensis*)／1981-026／鈴木 茂・浅野 勝司・中條 太光
HMG-1327：二枚貝類／1995-001／協力化石部会
HMG-1328：二枚貝類／1983-044／高橋 博志
HMG-1329：二枚貝類／1995-001／協力化石部会
HMG-1330：ワタゾコツキヒガイ(*Parvamussium yubarensis*)／1997-027／穂別町立博物館
HMG-1331：ワタゾコツキヒガイ(*Parvamussium yubarensis*)／1997-014／穂別町立博物館・千歳化石会
HMG-1332：ワタゾコツキヒガイ(*Parvamussium yubarensis*)／1998-065／穂別町立博物館
HMG-1333：オニコブシガイ(*Pseudoperissites bicarinata*)／1982-027／田中 岩男
HMG-1334：巻貝類／1998-126／穂別町立博物館
HMG-1335：巻貝類／1994-183／三宅 俊一・渋谷 直憲
HMG-1336：巻貝類／1994-183／三宅 俊一・渋谷 直憲
HMG-1337：巻貝類／1981-019／笠巻 袈裟男・田所 隆・鈴木 茂
HMG-1338：巻貝類／1995-001／協力化石部会
HMG-1339：カセンチドリ(*Capulus problematicus*)／1994-209／千歳化石会
HMG-1340：カセンチドリ(*Capulus problematicus*)／1993-021／笠巻 袈裟男
HMG-1341：カセンチドリ(*Capulus problematicus*)／1981-045／鈴木 茂
HMG-1342：カセンチドリ(*Capulus cassidarius*)／1994-198／渋谷 直憲・川上 源太郎
HMG-1343：カセンチドリ(*Capulus cassidarius*)／1994-198／渋谷 直憲・川上 源太郎
HMG-1344：カセンチドリ(*Capulus cassidarius*)／1994-198／渋谷 直憲・川上 源太郎
HMG-1345：アンモナイト(*Polyptychoceras* sp.)／2001-010／千歳化石会（服部 義之）
HMG-1346：アンモナイト(*Hyphantoceras* sp.)／2002-015／穂別町立博物館
HMG-1347：アンモナイト(*Diplomoceras* sp.)／1995-011／川上 源太郎・渋谷 直憲
HMG-1348：ノムラカガミガイ(*Phacosoma nomurai*)／1986-048／穂別町教育委員会
HMG-1349：ダイオウシラトリ(*Macoma optiva*)／1989-012／今 幸太郎・地徳 力・高橋 博志
HMG-1350：ダイオウシラトリ(*Macoma optiva*)

- /1989-012/今 幸太郎・地徳 力・高橋 博志
 HMG-1351 : カキ化石/1995-058/穂別町立博物館
 HMG-1352 : キララガイ (*Acila elongate*) /
 1989-012/今 幸太郎・地徳 力・高橋 博志
 HMG-1353 : キララガイ (*Acila elongate*) /
 1989-012/今 幸太郎・地徳 力・高橋 博志
 HMG-1354 : コビヤマホタテガイ (*Mizuhopecten
kobiyamai*) /1986-048/穂別町教育委員会
 HMG-1355 : リュウグウハゴロモガイ (*Periploma
yokoyamai*) /1995-058/穂別町立博物館
 HMG-1356 : リュウグウハゴロモガイ (*Periploma
yokoyamai*) /1989-012/今 幸太郎
 HMG-1357 : メイセンタマガイ (*Euspila meisensis*)
 /1989-012/今 幸太郎・地徳 力・高橋 博志
 HMG-1358 : メイセンタマガイ (*Euspila meisensis*)
 /1989-012/今 幸太郎・地徳 力・高橋 博志
 HMG-1359 : トウイトガイ類 (*Siphonalia* sp.) /
 1986-048/穂別町教育委員会
 HMG-1360 : キリガイダマシ (*Turritella* sp.)
 /1989-012/今 幸太郎・地徳 力・高橋 博志
 HMG-1361 : 巻貝類/1981-033/鈴木 茂・荒木
 新太郎・高橋 博志
 HMG-1362 : タマガイ類 (*Cryptonatica* sp.) /1981-
 026/鈴木 茂・浅野 勝司・中条 太光
 HMG-1363 : ツノガイ類 (*Dentalium* sp.) /1983-
 064/鈴木 茂・菅原 泰次
 HMG-1364 : フネガイ類 (*Portlandia* sp.) /
 1984-035/鈴木 茂
 HMG-1365 : フネガイ類 (*Cyclocardia tokudai*) /
 1984-035/鈴木 茂
 HMG-1366 : キリガイダマシ類 (*Turritella* sp.) /
 1984-035/鈴木 茂
 HMG-1367 : キリガイダマシ類 (*Turritella* sp.) /
 1984-035/鈴木 茂
 HMG-1368 : キリガイダマシ類 (*Turritella* sp.) /
 1984-035/鈴木 茂
 HMG-1369 : キリガイダマシ類 (*Turritella* sp.) /
 1984-035/鈴木 茂
 HMG-1370 : トクダマルフミガイ (*Cyclocardia
tokudai*) /1984-035/鈴木 茂
 HMG-1371 : キララガイ類 (*Acila* sp.) /2006-025
 /採集・寄贈者不明
 HMG-1372 : キララガイ類 (*Acila* sp.) /1982-176
 /鈴木 茂
 HMG-1373 : キララガイ類 (*Acila* sp.) /2006-026
 /採集・寄贈者不明
 HMG-1374 : キララガイ類 (*Acila* sp.) /2006-026
 /採集・寄贈者不明
 HMG-1375 : キララガイ (*Acila picturata*) /1983-
 012/鈴木 茂
 HMG-1376 : ハゴロモガイ類 (*Periploma* sp.) /
 1982-027/田中 岩男
 HMG-1377 : フネガイ類 (*Portlandia* sp.) /2006-
 027/長岡 晴道
 HMG-1378 : ソデガイ類 (*Yoldia* sp.) /1982-176
 /鈴木 茂
 HMG-1379 : 二枚貝類 (*Nucula* sp.) /2006-028/
 採集・寄贈者不明
 HMG-1380 : マルフミガイ類 (*Cyclocardia* sp.) /
 2006-029/平野 文江
 HMG-1381 : ホベツバイ (*Neptunea hobetsuensis*)
 /1982-176/鈴木 茂
 HMG-1382 : エゾバイ類 (*Neptunea?* sp.) /1987-
 007/笠巻 袈裟男
 HMG-1383 : 巻貝類 (*Trominina umbelliformis*) /
 1982-027/田中 岩男
 HMG-1384 : キリガイダマシ類 (*Turritella* sp.) /
 1981-060/田中 岩男
 HMG-1385 : ヒタチオビガイ (*Fulgoraria antiquior*)
 /2006-030/高橋 博志
 HMG-1386 : ヒタチオビガイ (*Fulgoraria antiquior*)
 /2006-031/平野 文江
 HMG-1387 : ヌノマエツノガイ (*Dentalium
nunomae TAKEDA*) /1981-060/田中 岩男
 HMG-1388 : アンモナイト (*Eupachydiscus* sp.) /
 1991-006/川上 由太郎
 HMG-1389 : 笠型巻貝 (*Gigantocaulus giganteus*)
 /2006-020/菅原 昭二
 HMG-1390 : 石炭/2005-069/村上 隆
 HMG-1391 : 石炭/1982-059/高橋 作一
 HMG-1392 : イノセラムス/1981-015
 /佐藤 博義
 HMG-1393 : イノセラムス (*Inoceramus hobetensis*)
 /1997-019/穂別町立博物館
 HMG-1394 : 植物化石/1995-042/穂別町立博
 物館
 HMG-1395 : イノセラムス (*Inoceramus hobetensis*)
 /2005-074/守山 隆雄
 HMG-1396 : イノセラムス (*Inoceramus hobetensis*)
 /1994-209/千歳化石会
 HMG-1397 : 巻貝類/1992-012/高橋 博志・地
 徳 力・佐藤 稔
 HMG-1398 : 巻貝類/1992-012/高橋 博志・地
 徳 力・佐藤 稔
 HMG-1399 : 巻貝類/1992-012/高橋 博志・地
 徳 力・佐藤 稔
 HMG-1400 : イノセラムス/2006-032/穂別博
 物館
 HMG-1401 : アンモナイト (パキディスカス類)
 /1992-036/穂別館協力会化石部会
 HMG-1402 : 二枚貝類/2003-064/穂別町立博
 物館
 HMG-1403 : 二枚貝類/1984-102/鈴木 茂
 HMG-1404 : 長頸竜化石/2006-047/堀田 良幸
 HMG-1405 : アンモナイト (*Pachydesmoceras
kossmati*) /2006-046/株地崎工業・西江建設
 (株) 特定建設工事共同企業体

HMG-1406 : アンモナイト (*Mesopuzosia* sp.)
/2006-051/鹿戸 辰幸・鍋澤 敏克

【自然系資料 (HMB)】(現生生物) 2点

HMB-122: 北海道の甲虫(35種・157点) /2006-007
/溝口 賢治

HMB-123 : 東南アジアの甲虫(43種・164点) /
2006-007/溝口 賢治

【人文系資料 (HMC)】(生活・歴史等) 0点

V 資料の貸出

平成6(1994)年8月17日～平成18(2006)年3月31日

ウミガメ化石 (HMG-366, 367, 1053, 1054, 1055 :
5点) : 早稲田大学 平山 廉博士 (旧所属 : 帝京
平成大学)

平成7(1995)年4月1日～平成18(2006)年3月31日

アンモナイト (HMG-842)・イノセラムス (HMG-883)
(2点) : 穂別地球体験館

平成7(1995)年5月11日～平成18(2006)年3月31日

ウミガメ化石 (HMG-1063, 1064 : 2点) : 早稲田
大学 平山 廉博士 (旧所属 : 帝京平成大学)

平成7(1995)年4月1日～平成18(2006)年3月31日

剥製標本 (HMB-2, 3, 4, 7, 9, 11, 12, 17, 19,
21, 22, 25, 26, 29, 30, 40, 41, 43, 98, 99 :
計20点) : 穂別町立穂別小学校

平成8(1996)年6月14日～平成18(2006)年3月31日

剥製標本 (HMB-36, 47 : 2点), ジオラマ (HMC-2797,
2798, 2799, 2821 : 4点) : 穂別町立穂別小学校

平成9(1997)年6月27日～平成18(2006)年3月31日

アンモナイト (HMG-911, 936 : 2点) : 工業技術
院地質調査所地質標本館 利光誠一博士

平成18(2006)年4月15日～9月30日

アノマロケリス<レプリカ> (HMG-1290 : 1点) :
久慈琥珀博物館

平成18(2006)年4月28日～6月25日

古写真 (HMC-2193, 2194, 2593 : 3点) :
北海道開拓記念館

平成18(2006)年7月5日～9月15日

メソダーモケリス (HMG-5, 396, 1069, 1072)
セマルハコガメ (HMB-53), マタマタ (HMB-80)
タイマイ (HMB-79) 計7点 : 千歳ふるさと館

平成18年7月7日～9月2日

ホベツアラキリュウ全身復元骨格(複製 : 1点) :
J T B 北海道(札幌市円山動物園化石探検学覧会
会場)

●調査研究活動ほか

I 調査研究活動

(1) 脊椎動物化石の研究

【モササウルス化石】

4月15日-16日：コールドウェル博士・小西 卓哉(カナダ・アルバータ大学)・谷本 正浩 来館

【クジラ化石】

10月26日：村上 瑞季(早稲田大学) 来館

(2) その他の研究

下記参照

II 刊 行 物

【むかわ町立穂別博物館研究報告】

(改称、号数は継続)

第22号、26頁：平成19(2007)年3月31日発行
＜掲載論文＞

櫻井 和彦(当館学芸員)：穂別産アンモナイト
目録. p. 1-26.

【むかわ町立穂別博物館館報】

(改称、号数は継続)

第23号(2005年度版)、17頁：平成18(2006)年8
月発行

III 学会・大会・研修会等への参加

【学会・研修会等】

[日本古生物学会]

平成19(2007)年2月1日-3日：

第156回例会(徳島県立博物館)：学芸員出席

【博物館協会等の大会・研修会等】

[北海道博物館協会]

第45回北海道博物館大会：欠席

平成18(2006)年10月12日～13日：

北海道博物館協会学芸職員部会 総会・研修会(北海道大学)：学芸員出席

[日胆地区博物館等連絡協議会]

平成18(2006)年6月7日-8日：

日胆地区博物館等連絡協議会 総会(新ひだか町<静内>)：学芸員出席

平成18(2006)年9月28日-29日：

日胆地区博物館等連絡協議会 職員研修会(浦河町)：学芸員出席

平成19(2007)年2月2日：

日胆地区博物館等連絡協議会 役員会：欠席
[ミュージアム・マネジメント]

：欠席

IV 協力団体との連携

【穂別博物館協力会】

平成18(2006)年：

5月13日：自然観察会「春の花と山菜」講師(小山 タエ子会員)

5月25日：穂別博物館協力会 総会

6月 4日：学習用地の整備(崩土除去・水洗)

7月23日：野外調査(穂別稲里地域)

9月 7日：町教研(理科)「自然観察会」講師(高橋 博志会員)＜中止＞

9月16日：自然観察会「秋のきのこ」講師(高橋 博志会員)

9月24日：学習用地の整備(崩土除去・水洗)

9月28日：学習用地の整備(崩土除去・水洗)

10月11日：野外調査(穂別長和地域)

10月19日：野外調査(穂別長和地域)

10月29日：野外調査(穂別安住地域)

11月 2日：野外調査(穂別長和地域)

平成18年度寄贈資料：化石ノジュール(148点)

【千歳化石会】

平成18(2006)年：

4月29日：野外調査(穂別富内地域)

4月30日：野外調査(穂別富内地域)

8月27日：野外調査(穂別稲里地域)

9月10日：野外調査(穂別稲里地域)

11月16日：総会

平成19(2007)年：

3月25日：次年度打合せ

平成18年度寄贈資料：化石ノジュール(6点)

I 行事等

【学校訪問（利用案内）】

平成19(2007)年：

- 2月14日：穂別地区（富内小）
- 2月15日：穂別地区（穂別小・穂別中・穂別高・
稲里小・和泉小・仁和小・仁和中）
- 2月22日：鵜川地区（生田小・鵜川中・鵜川中央
小・鵜川高・宮戸小）

【中央生活館の展示（民俗資料の展示）】

平成18(2006)年6月28日：展示資料の入れ換え

【宣伝活動】

平成18(2006)年：

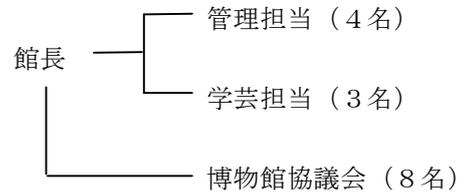
- 5～6月：博物館宣伝ポスター改訂版作成（名称変
更による）
- 11～12月：博物館パンフレット改訂版作成（名称
変更による）

II 研修の受入れ

平成18(2006)年：

- 7月27日-28日：胆振教育局10年経験者研修（2人）
〈鵜川中央小学校教諭・鵜川高校教諭〉
- 8月30日-31日：穂別高校2年インターンシップ
（2人）
- 9月1日-14日：博物館実習（1人）〈麻生大学〉
- 9月5日-6日：穂別中2年インターンシップ（2人）
- 11月30日：平成18年度初任者研修「地域研修」
（1人）〈和泉小教諭〉

II 組 織



【博物館協議会委員】（平成18(2006)年度）

平成18(2006)年8月1日～平成19(2007)年3月31日

- 会 長 荒 木 新太郎
- 副会長 梅 津 讓 一
- 委 員 内 海 由紀江
- 委 員 鎌 田 政 博
- 委 員 菊 地 啓 允
- 委 員 小石川 武 美
- 委 員 佐 藤 稔
- 委 員 只 野 繁

【博物館職員】（平成18(2006)年度）

- 〈館 長〉 本 多 廣 行
- 〈管理担当職員〉
 - 主 査 石 黒 和 徳
 - 臨時職員（受付） 芥 川 紀 子
 - 臨時職員（受付） 深 谷 文 子
 - 臨時職員（清掃） 多 村 こゆる
- 〈学芸担当職員〉
 - 学 芸 員 櫻 井 和 彦
 - 生涯学習推進アドバイザー 村 上 隆
 - 臨時職員（補助員） 相 澤 孝 行

Ⅲ 利用状況

【常設展示観覧者】

平成18(2006)年4月～平成19(2007)年3月

月	一般	学生	計	開館日
4	589	368	957	26
5	1,951	938	2,889	26
6	363	475	838	26
7	837	402	1,239	31
8	1,407	871	2,278	31
9	469	207	676	30
10	542	229	771	25
11	271	87	358	25
12	40	10	50	26
1	46	19	65	21
2	43	16	59	23
3	153	55	208	27
計	6,711	3,677	10,388	317

(単位：人・日)

【博物館特定入館日】

<新町誕生記念週間>

平成18(2006)年3月26日に新町「むかわ町」が誕生したことを記念し、春休み期間にあたる新年度の一週間(4月1日～7日)を町民無料入館の日とした。穂別地球体験館と共同で実施。

<博物館開館記念日関連事業>

7月20日の開館記念日に関連して、平成18(2006)年7月17日(月)～7月23日(日)の7日間を町民無料入館の日とした。

<国際博物館の日>

国際博物館会議(イコム、ICOM)のモスクワ大会(1977年)にて制定され、日本では平成14年度から日本博物館協会とイコム日本委員会が協力して記念事業が展開されることとなった「国際博物館の日」(5月18日)の趣旨に賛同し、当日を町民無料入館の日とした。

[博物館特定入館日に伴う町民無料入館]

実施日	行事名	一般	学生	計
4.1～7	新町誕生記念週間	21	7	28
5.18	国際博物館の日	0	0	0
7.17～23	博物館開館記念日	10	6	16
9.18	敬老の日	0	0	0
11.3	文化の日	0	0	0
11.23	勤労感謝の日	0	0	0
'07.1.8	成人の日	0	0	0
計	延べ12日	31	13	44

学生：小・中・高校生 (単位：人)

【学校週五日制関連事業】

<町内児童生徒に対する入館料減免>

学校完全週五日制及び「総合学習」の導入に合わせ、むかわ町内児童生徒並びに引率者については無料観覧とした。

平成18年度の利用者数：350人(個人見学のみ)

Ⅳ 歳入

区分		有料入館者数	使用料
一般	個人	3,768	1,130
	団体	516	103
	割引	2,189	438
学生	個人	1,459	146
	団体	868	43
	割引	933	47
小計		9,733	1,907
諸収入	物品販売代		12
	私用電話料		0
小計			12
合計			1,919

(単位：人・千円)

Ⅴ 歳出

費目	予算額
博物館施設管理経費	12,759
博物館協議会経費	47
生涯学習推進アドバイザー設置経費	2,005
博物館資料収集及び調査研究事業	514
博物館施設改修事業	188
博物館費合計	15,513

(単位：千円)

VI 利用案内

【開館時間】

午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【休館日】

- ・毎週月曜日。
 - ・国民の祝日の翌日。ただし、その翌日が土曜日、日曜日及び月曜日にあたる場合は火曜日。
 - ・館内整理日。
 - ・12月31日～1月5日。
- *ただし、7、8月は休まず開館。

【観覧料】

	一般	*学生
個人	300円	100円
**団体	200円	50円
***割引	100円	無料

注：未就学児童は無料（要大人の付添い）

* 学生：小・中学生・高校生

** 団体：10人以上

***割引：地球体験館との共通利用割引

【減 免】

「(むかわ町立)博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない(むかわ町立博物館設置条例、第4条)」が「(むかわ町)教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる(同条例、第5号)」。減免は、教育・研究・福祉を目的とし、以下に従う。

むかわ町立博物館施行規則第4条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

(教育目的)

1) むかわ町内の小・中学校及び高等学校の児童生徒と引率者が教育を目的として入館する場合

(研究目的)

2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・研究のため入館する場合

(福祉目的)

3) 老人福祉法(昭和38年法律第133号)第15条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合

4) 知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)第19条に規定する町内の知的障害者援護施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合

(公益目的)

5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に館長が必要と認める場合

むかわ町立穂別博物館館報

第24号

平成18(2006)年度版

発行 2008年1月

発行者 むかわ町立穂別博物館

〒054-0211

北海道勇払郡むかわ町穂別80番地6

TEL/FAX (0145) 45-3141